

ワイヤーメッシュ柵への張り替えによるイノシシの被害防止対策

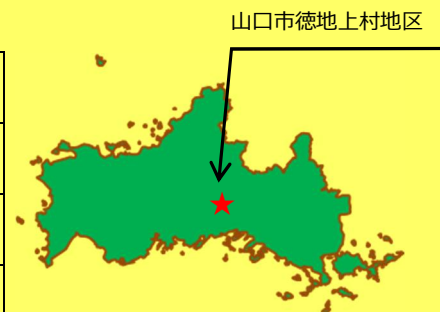
1 要旨

イノシシによる食害や掘り起こしを防止する為、被害農家で電気柵、防獣ネットを設置してきたが、設置後15年以上経過し、補修困難な破損箇所が目立つ一方、新たな侵入ルートが増え、農作物の被害が増えてきた。

このため、既存の電気柵、防獣ネットからワイヤーメッシュ柵へ張り替え、当番制による住民の見回りや草刈りなどの管理を徹底することで被害軽減に取り組んでいる。

2 地区の概要

地区名	山口市徳地町 上村地区
主な作物	水稻
加害獣種	イノシシ
対策実施年度	令和6年度から令和7年度



3 被害の状況と課題

地区内2割程度の水田で稲穂の食害や、3割程度の畦畔・水路の掘り起こしが発生している。

また、近年、侵入経路が増え、地区内でイノシシ被害が多発、分散している。

4 取組内容

耕作者グループ、猟友会、地元自治会と役割分担し、以下の活動に取り組んでいる。

(1) 防護対策

耕作者グループが、既存の電気柵、防獣ネットを撤去し、ワイヤーメッシュ柵を新設した。設置後は柵の見回り、草刈、補修を徹底している。

(2) 捕獲対策

猟友会は、箱わなの維持管理と捕獲活動に取り組んでいる。

(3) 生息管理地対策

耕作者グループは、鳥獣の潜み場をなくすため、耕作放棄地の草刈りを継続して

実施している。

また、地元自治会は、廃棄野菜・未収穫果樹等の管理を呼び掛けている。



事業実施前の対策



張替後のワイヤーメッシュ柵

5 取組の成果

地域の関係組織の連携、協力により、継続的に地域ぐるみ活動に取り組み、被害額が軽減している。

【被害額】

(千円)

区分	事業 実施前	令和8年度		令和9年度		令和10年度	
		実績	増減	実績	増減	実績	増減
イノシシ	300	—	—	—	—	—	—

6 地区代表者のコメント（宇佐川代表）

鳥獣侵入防止柵の整備により、有害鳥獣による被害軽減の手応えを感じている。中山間地域で高齢化が進む中、耕作者グループ、猟友会、地元自治会が連携し、地域ぐるみで取り組むことの大切さを実感しており、今後も協力体制を維持しながら、継続的に鳥獣被害の防止に努めていきたい。

7 今後の取組

引き続き、関係組織と役割分担し、ワイヤーメッシュ柵のメンテナンス、耕作放棄地の保全管理、箱わなの維持管理、廃棄野菜・未収穫果樹等の管理に取り組んでいく。